

ガバナー補佐が選ぶ 魅力ある奉仕活動

IM第5組 ガバナー補佐 緒方 満

(大阪北RC)

大阪中央RC 「障害者の支援活動とロータリーデー」

当クラブでは、2009年から社会奉仕活動として大阪市の「舞洲障害者スポーツセンター」が主催する「新年の集い」を協賛しています。今年も、RACメンバーと一緒に、バザーを開催してその売上を当センターに寄付するとともに、正月遊びとして「お絵描きコーナー」を設置し

たり、「おたのしみ抽選会」に賞品を提供するなどして、障害者の方楽しんでいただきました。今年は、これに合わせて、当クラブのロータリーデーを開催し、当クラブの幟をたてるとともに、全員が赤いブルゾンを着用して、ロータリークラブの公共イメージの向上に努めました。



大阪堂島RC 「ネパール女性教師の育成活動の支援」

当クラブは数年前から日本ネパール女性教育協会の活動を支援しています。ネパールでは地理的状況やカースト制度のなごりから地方の村の女子教育がなごりになっているため、地方出身の女性に2年間寮生活をさせながら教師として育成し、その後何年間か出

身地に帰し、後進の子女の教育に従事してもらうという活動の支援です。平成26年11月には当クラブの会員がポカラのさくら寮を訪問してピアノ10台を寄贈したり、寮を卒業して東京に留学中の女性教師の卵を12月のクリスマス例会に招待して交流を深めました。



大阪北RC 「社会奉仕継続事業 ライフケア中津慰問会」

11月19日(水)に、社会奉仕委員会の継続事業である「大阪府済生会中津医療福祉センター ライフケア中津」への慰問を開催致しました。例年通り、童謡・唱歌など約3か月間の練習の成果をいかに発揮し、入所者の皆様と共に、10

曲程度合唱致しました。入所者の皆様には一時の心の安らぎをお送りできたかと思えます。

この事業は2006年より開始し、今年度で9回目となります。今後ともご期待にお応えし継続していく所存です。



大阪北梅田RC 「特別支援学校へ授業備品充実支援の為の事業」

大阪北梅田ロータリークラブでは、大阪市立東住吉特別支援学校の重度障害生徒へ視覚的・聴覚的アプローチ、筆記が困難な生徒のプリント代替教材、発語が困難な生徒のコミュニケーションツールとしてタブレット端末12台(Wi-

Fiモデル)を寄贈しました。

10月に表敬訪問し、授業を見学致しました。生徒達が端末を使用した授業を受けている姿を見て一同感動しました。

またこの事業に対して大阪市長より感謝状を戴きました。



大阪西RC 「フィリピン・マングローブ植樹事業」

11月末、FVP地区補助金を利用してフィリピン・バターン州パラング沿岸部で、地元のボランティアあわせて約50名と4000本のマングローブの苗を植え、またカニの稚魚の放流もおこないました。

マングローブ林は潮の影響を受

ける浅瀬にあり急速に減少を続けており、その回復は重要な課題となっています。

今後もこのマングローブの成長を現地のロータリアンとともに見守り続けて行きたいと思います。



大阪大淀RC 「台湾での山地における飲料水の供給プロジェクト」

台湾・台北中正ロータリークラブとのタイアップでグローバル補助金を申請しております。

実施地は三地門郷地区で現地は地質的に土壌が悪く、サルモネラ菌を含んだ水源を飲用することにより大腸菌に冒される可能性が高いた

め、改善が求められております。

その為、大規模に山の湧き水の貯水タンクを設置することにより、汚染水によるリスクの大幅な低減を目的としております。

補助金として、RI3520地区・RI2660地区のDDFを活用致します。



大阪リバーサイドRC 「宮城県石巻市立雄勝中学校に向けての支援」

地区補助金・IM5組複数クラブのご協力の基に2014年10月3～5日の2泊3日、雄勝中学校全校生徒24名、引率教員5名、合計29名のUSJへの招待旅行を実施。楽しかった思い出と「これからも頑張ります」の言葉と共に無事終了。

まだまだ道半ばの大震災の復興が遠く離れた人々に忘れられているのではないかという不安を持つ子供達が、決してそうではない事を実感し、苦難を越え人々への優しさを持つ大人への成長を念じてやみません。



大阪西北RC 「タイへの腎臓透析器の寄贈」

当クラブのツインクラブ、バンコク・クロムトイRCと日本の3クラブが共同で、もう10年になりますが、WCS事業として今年はタイ・チェンマイ県の病院に腎臓透析器の寄贈式典に参加してきました。200名ほどの市民が参加、看護師や関

係者の表彰など、盛大な式典と病室の見学、昼食のおもてなしなどを通じ、まだまだ機材が不足している実情を痛感しました。

永年にわたる事業の継続と、現地メンバーとの深い交流こそがWSCの意義を感じています。



大阪そねざきRC 「東日本大震災復興支援チャリティコンペの開催」

第4回となる今回の開催、支援先の選定より始め、交友関係にある気仙沼RCと連携し、最も現在必要とされていた気仙沼市立大島小・中学校へ放送機材を寄贈することとしました。

11月8日に 約120名の参加者を

集い、そねざきRC会員の参加（メンバー集め・景品の提出等）を持ってチャリティコンペ開催。

11月22日、大島小・中学校へ行き放送機材の贈呈式を行い、感謝状を受け取りました。



大阪梅田RC 「府立支援学校に対する奉仕活動」

7月9日、甲子園の阪神・広島戦に東大阪・岸和田各支援学校の生徒ら82名を招待し、9月16日、大阪ドームのオリックス・ソフトバンク戦に堺・高槻・交野・吹田各支援学校の生徒ら90名を招待しました。

会員の会社にて9月24日から3日

間、5名の生徒がコンピューター操作の職業実習を行ったほか、会員が紹介したスーパー、外食産業においても職業実習を実施しました。

11月18日、高槻支援学校において移動例会を行いました。



大阪梅田東RC 「秋の家族旅行会」

11月16日に参加者20名での恒例の家族旅行会、天気にも恵まれ生国魂神社-黒門市場-道頓堀川(クルージング)-レストラン・スワンにてセルフサービスのバーベキューのコースで楽しみました。

生国魂神社では正式参拝、お祓

いを受け、玉串奉奠し、我が梅田東RCの益々の発展とロータリーメンバー全員の職業繁栄と健勝を確りと祈願しました。

改めてお互いの友好を深めることが出来、とても良い一日になりました。



大阪ユニバーサルシティRC 「ロータリークリスマス in USJ」

当事業は毎年12月にUSJにて、両親と離れて暮らさざるを得ない施設の子供たちと親代わりとして一日一緒に過ごし、子供たちの健やかな成長に少しでも貢献しようという活動です。

当クラブの設立趣旨から、USJと

連携し地域に貢献できる事業作りを目指し、設立時より継続し平成26年で13回目となりました。

他クラブロータリアンを初め、この事業に賛同して頂いている多くの方々にもお手伝いを頂き参加者120名の事業に成長しました。



IM第6組 ガバナー補佐 戸田和孝

(大阪東淀ちゃやまちRC)

大阪RC 「宮古・大阪みおつくし奨学金制度」

クラブ創立90周年事業として設立された制度。100周年(2022年)までの10年間の継続事業で、宮古東RCの協力を得、毎年2名の大学生に毎月5万円の奨学金を4年間授与するという制度です。

原資は会員による“みおつくしニ

コニコ”の協力金。東日本大震災後、会員が現地を訪れ、何か支援事業はできないものかと検討の結果、この事業を立ち上げました。

毎年、会長・幹事・担当委員会メンバーが現地において、奨学金を贈呈、交流を図っています。



大阪東RC 「ベトナムの貿易大学ハノイ校の学生に対する奨学金給付事業」

大阪東RCは本年度、新たな国際社会奉仕活動として、ベトナムの貿易大学(Foreign Trade University)ハノイ校日本語学部の学生に対する奨学金給付事業を開始しました。奨学生が将来、日本とベトナムとの間の架け橋となることを期待しています。

地区補助金3000USドルに大阪東RCの

国際社会奉仕基金3000USドルを加え、合計6000USドルを年間20名の学生に1人300USドル給付します(FTUの年間平均授業料が約300USドルだそうです)。

ベトナムは社会主義国であり、RCが存在しませんので、その意味でもRCの国際社会奉仕活動として注目すべき事業と言えます。



大阪東淀ちゃやまちRC 「児童福祉施設“博愛社”への奉仕」

色々な理由で親と離れて生活せざるを得ない子供たちのための施設“博愛社”に対して、毎年、元・阪急ブレーブスのプロ野球OBたちを招き、会員も一緒に野球教室を開催しています。

まだキャッチボールもままならな

い子供から、大人顔負けの球を投げる小学上級生までを、元プロ野球選手が3班に分かれて指導します。その甲斐あってか、関西のリーグでも好成績を収めること多々、まさに汗を流す奉仕ですが、会員も楽しんでいきます。



大阪城東RC 「日本ライトハウスチャリティコンサート支援」

30年近く行われている盲導犬同伴可の視覚障碍の方を支援するコンサートを積極的に支援しています。

今回はシンフォニーホールに千里フィルを招き、全盲のバイオリニスト和浪孝禧氏による演奏など、内

容の濃い音楽会になりました。

地元の中学校の吹奏楽部50人をこの演奏会に招待しています。

その他、定時制高校の勤労学生への表彰制度、出前授業など、地元との繋がりを大切にしているのも、このクラブの特徴です。



大阪中之島RC 「人道的国際社会奉仕活動」

三世代合同事業として、大阪天満RC、大阪大手前RC、大阪中之島RCと柳生の里・成美学寮に大型TVを寄贈、又餅つき大会を行い奉仕を通じて寮生と親睦を図りました。

東北支援事業はスポーツ用品、楽器等を寄贈し、国際支援に関して

は、ベトナム郡立病院に13年間医療機器を寄贈し、姉妹クラブ台北福齡RCの奨学生支援事業に参加し、識字問題に関し姉妹クラブとの共同提唱クラブとしてTRFにグローバル補助金を申請し、この度認可がおりました。



大阪大手前RC 「石巻市への支援」

東北石巻市でボランティア活動をしている団体に対し、昨年度から2年続けて震災復興支援をしています。仮設住宅等の建設で公園などが使えず、子供たちの遊び場がなくなってしまったので、その団体が倉庫を借りそこに子供から大

人までが遊び・集える場所を新しく造られました。

まだまだ整備が必要とのことで、今回建物の整備、遊び道具の整備、トレーニング機器の整備などに対し地区補助金と合わせて支援させていただきました。



大阪城北RC 「淀川クリーンキャンペーン 淀川・城北ワンドの環境を取り戻すために」

大阪市旭区の貴重な資源である淀川を守るため、毎年10月に開催される大阪工業大学と地域が連携した「地域みんなで淀川・城北ワンドの環境をまもろう」をテーマとするこの事業に協賛しております。

大阪工業大学の学生、教職員、

地域住民の方々など800人が参加し今回で8年目です。城北ワンドは貴重な在来種である天然記念物のイタセンパラ等の貴重な生態系を守り育む場所です。地域の方々と一丸となり、本来の自然に戻すべく参加させて頂いております。



大阪天満橋RC 「RAC活動への支援」

RACを持つクラブとして、その活動への支援と理解を深める活動を展開しています。

天満橋駅付近の川辺を清掃する「クリーンハイク事業」は年に2～3回のペースで実施し、天満音楽祭へのボランティア協力、台湾陽

明RACとの交流と共同事業に対する助言・支援等を行っています。

RACの例会や遠足へのロータリアンの参加を促すほか、RACを持たない近隣クラブに対して、RAC活動の啓発にも力を入れていく方針です。



大阪鶴見RC 「アーモンドの森をつくる」プロジェクト」

創立30周年記念事業の一環として、大阪市鶴見区にある鶴見緑地公園内の自然を、地元地域の皆様と共に大きく育て、自然や生命の大切さを子供たちの世代に引き継ぐことを目的に、2014年に子供た

ちを含め地域の皆様と30本の苗木を植樹しました。

今後5年間、地域の協力を頂き、100本以上の植樹をして、大阪一の名所となることを目指します。



大阪淀川RC 「サモア共和国への奨学金支援」

大阪で国際大会が開催された時に知己を得た会員がその後サモアの現地を訪問、台風被害を目の当たりにし、向学心を持ちながら就学がままならない児童のために何か奉仕活動ができないものかと立ち上げたのがこの独自の奨学金制

度です。

10年以上にわたるこの奨学金のおかげでたくさんの子供たちの未来が開けました。子供たちからの心のこもった感謝の手紙はクラブの宝物でしょう。今年6月には現地を訪問する予定です。



新大阪RC 「トルコへの水供給事業」

前年度に着手したトルコ・コサカ村の飲料水供給事業は30周年事業の核として、現地のサムスンRCと協力して行われています。

RIの重点分野の一つ“水と衛生”に関連するこのプロジェクトは、今年6月の上水道設備完成をもっ

て一区切りがつかます。

その他、大阪府整枝学院の夏祭りへの参加、ひたくり防止キャンペーンの実施、東淀川区民まつりへの参加など、IMと30周年事業が重なり大変な中の活発な活動には敬意を表します。

